

市民活動サポートセンター運営協議会 第21回団体支援部会報告書

〈開催日時〉 2024年3月14日(木) 午後1時30分～午後3時30分

〈開催場所〉 フェイス5階：市民活動サポートセンター

〈出席者〉団体支援部会：柿崎委員、斉藤委員、廣田委員、森
市民協働課：矢田係長、富沢主事

〈欠席者〉：田久保委員

[配布資料]

1. 第20回団体支援部会報告書
2. 第21回団体支援部会スケジュール表
3. 柿崎会長提供資料
4. 団体支援の全体俯瞰について
5. 相談窓口改善について
6. ふなばし市民大学校ボランティア養成学科マッチング事業アンケート結果

〈議事概要〉

1. 柿崎会長提供資料について

- ・サポートセンター運営協議会の会議体遷移としてステージ1～4に整理、提示された。

2. 団体支援の全体俯瞰、今後の団体支援部会の活動について

- ① 団体の課題：人材不足高齢化、参加者不足。必要としているスキル：広報関連、ITスキル。
受けた支援内容：HPチラシ作成、資金調達 *利用登録団体アンケート上位2項目
●他の団体と交流したい、交流する時間がもっと欲しいとの意見も多くみられた。
- ② プロボノとの取り組みについて次年度開催案を検討。
 - ・プロボノ説明会を来年度も実施検討（開催時期は要検討）していく。新たにプロボノによる支援を希望する団体を対象に、今年度実際に支援を受けた団体が具体例を発表する。（困っていた点、取り組みに参加した経緯、ふなボノと関わり方、成果物等）
 - ・協力要請予定団体：（スペシャルキッズプロジェクト、発達障害支援ネット YELL）
 - ・情報⇒新規取り組み団体あり（4丁目ガーデンカフェ三咲：認知症カフェ）
- ③ 今後の取り組み
 - ・「ふなばし市民力発見サイト」を通じて積極的な情報発信、PR強化を行う。
 - ・「市民公益活動公募型支援事業」への参加方法についての講座開催等。

3. ふなばし市民大学校ボランティア養成学科マッチング事業アンケート結果について（R5年度）

- ① 市民大学アンケート結果
 - ・体験実習は90%満足、体験した団体の対応は75%良い、体験実習団体の選定理由は活動内容に興味、場所が自宅に近い、社会貢献性が高い今後の活動に役立つと感じたかは感じる66%等
- ② 今年度実施の反省点並びに来年度に向けての提案等
- ③ ボランティア学科で学んだ内容をアウトプットする場が不足しているのではないか。
 - ・現状⇒講座受講、実地体験
 - ・今後の取り組み案⇒例えば市民活動フェアなどの企画への参加など、今後の活動方法の具体的なマイルストーンを提示するような取り組みが出来ないか。

3. 相談窓口の改善について

サポートセンターで相談等を行いたい場合について申し込み手順、承り方等相談者目線での具体的な案作成とサポートセンター職員各位への周知や協力依頼等検討を行う。

以上

〈次回開催予定〉 令和6年4月11日(木) 13:30～

場所：市民活動サポートセンター

報告作成担当者 森

次回 田久保委員